

交野市生涯学習基本計画（中間見直し）
団体アンケート調査
【結果報告書】

令和 3 年 12 月

交 野 市

1. 調査の概要

1－1 調査の概要

項目	内容
調 査 地 域	市内全域
調 査 対 象 者	市内生涯学習活動関係団体
抽 出 方 法	スポーツ・文化・自然環境・福祉・学校に関する団体を任意に抽出
調 査 期 間	令和3年8月～9月
調 査 方 法	郵送配布・郵送回収
回 収 数	74 件
回 収 率	77.0%

1－2 報告書の見方

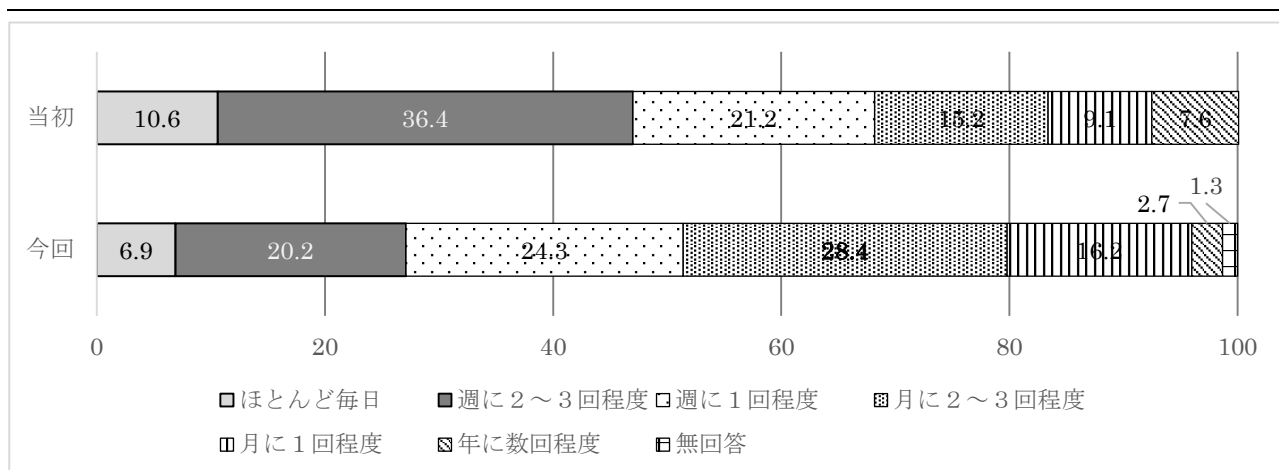
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

2. 調査結果

生涯学習関連団体の概況について

問1 貴団体の活動頻度はどのくらいですか。(ひとつに○)

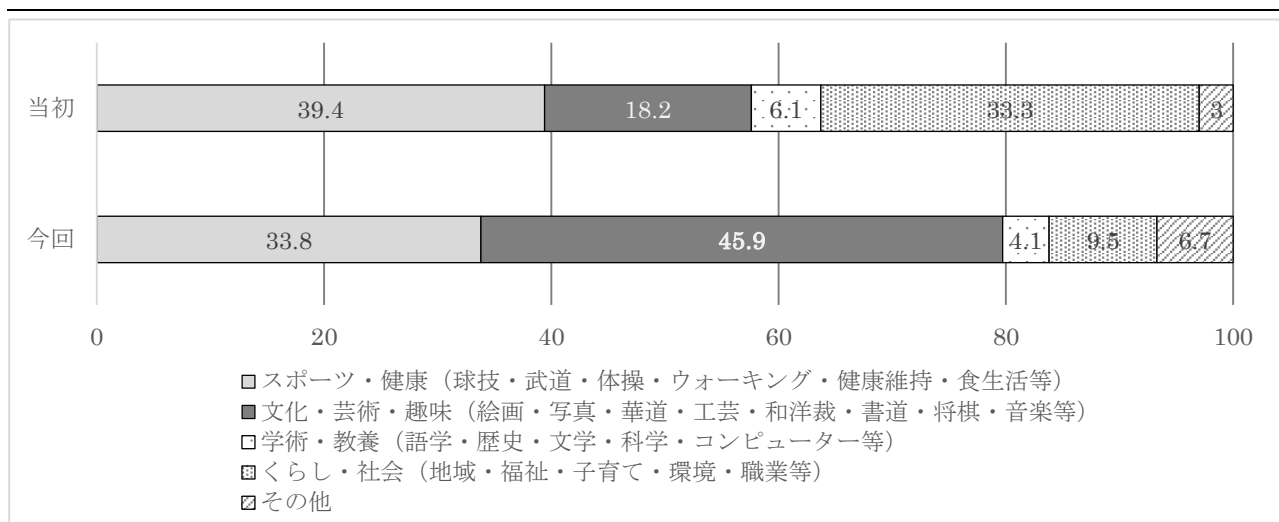
月に2～3回程度が28.4%と最も多く、次に「週に1回程度」が24.3%となっています。



前回の調査と比べると利用頻度が少なくなり月に2～3回程度と回答した方が増えています。それぞれの団体の高齢化や現在までのコロナ禍の状況が影響していると考えられます。

問2 貴団体の活動分野は、次のうちどれにあたりますか。(ひとつに○)

文化・芸術・趣味が45.9%と最も多く、続いて「スポーツ・健康」が33.8%、「くらし・社会」が9.5%となっています。



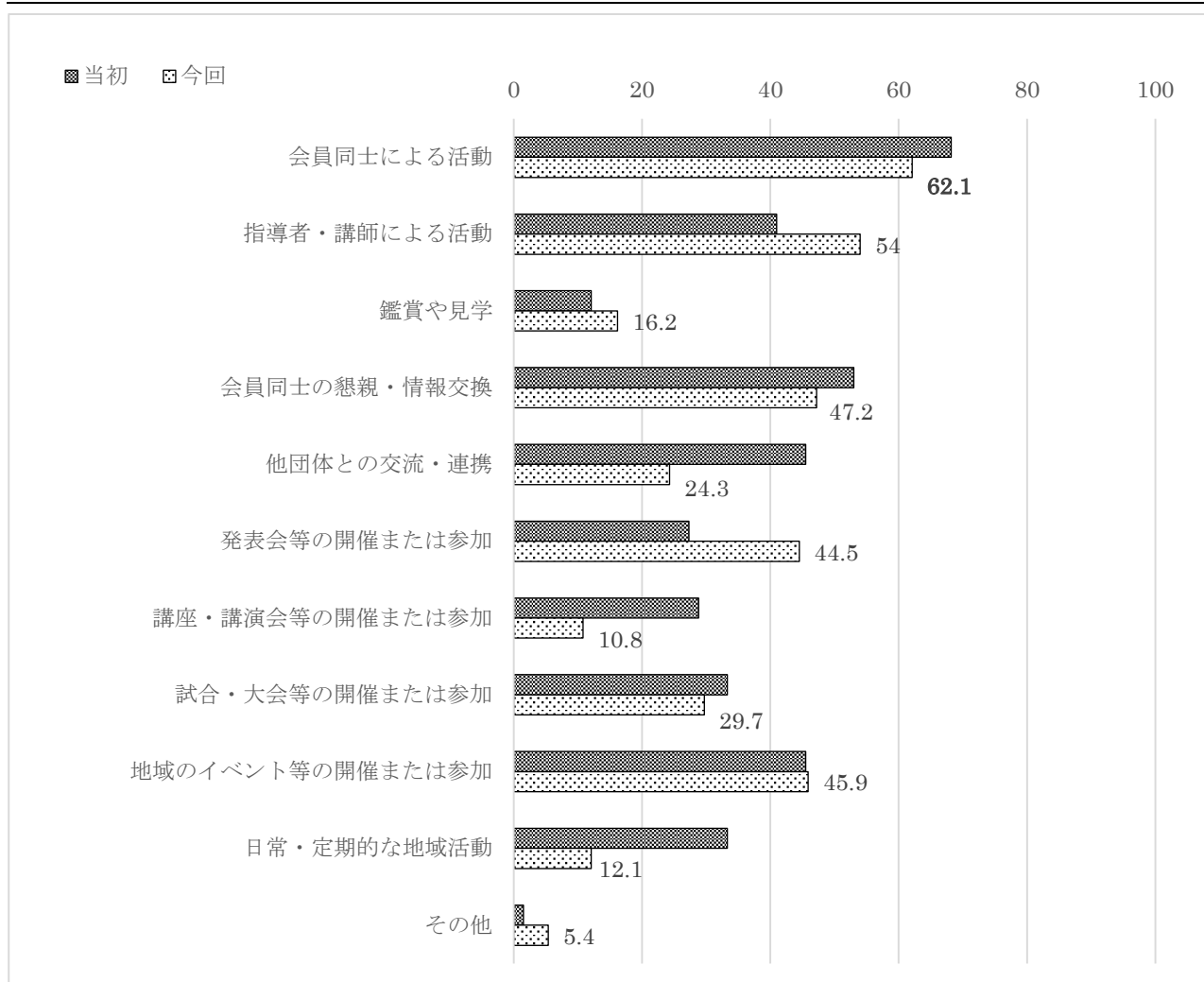
前回の調査と比べると、スポーツ・健康が減っており、文化・芸術・趣味が増えています。高齢化により体力の低下も考えられると思います。

→ 引き続き、ニーズやライフスタイルに応じた生涯学習機会の提供を行っていきます。

(施策目標1-2)

問3 貴団体は主にどのような形で活動を行っていますか。(複数可)

会員同士による活動が62.1%と最も多く、続いて「指導者・講師による活動」が54%、「会員同士の懇親・情報交換」が47.2%、「地域のイベント等の開催または参加」が45.9%となっています。



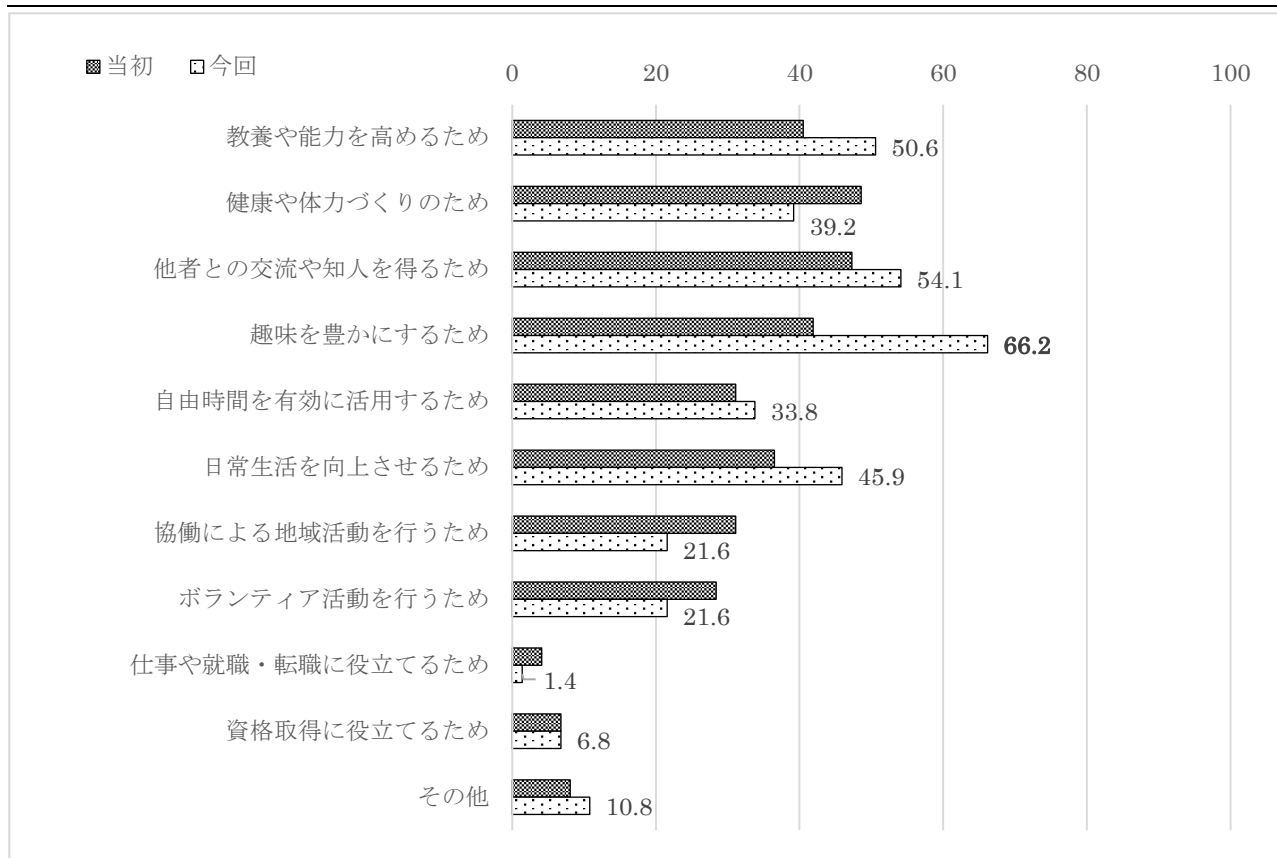
前回と比べると、他団体との交流・連携や講座・講演会等の開催または参加が大きく減っています。コロナ禍で他団体との交流が困難な状況だったため、このような結果になったと思われます。

その他（自由記述）

障がい福祉サービス、福祉施設の親睦、就労継続支援B型の事業所

問4 貴団体が、生涯学習に関する活動を行っている目的は何ですか。(複数可)

「趣味を豊かにするため」が49%と最も多く、次いで「他者との交流や知人を得るため」が40%となっています。



前回と比べると、趣味を豊かにするためが大きく増えています。コロナ禍のため自宅でできる趣味を増やしたり、趣味のレベルアップなどの理由も考えられます。

→ 引き続き、身につけた技術や技能を活かせる仕組みを行っていきます。(施策目標1-3)

その他（自由記述）

日本の伝統文化を次世代に伝える

演奏歌唱を通じて演奏者、聴衆ともにハッピーになれること

規律を身につけるため

地域の文化活動、水準の向上に寄与するため

交野市及び周辺地域における社会文化発表に寄与する

障がい者の就労支援

地域交流、障がいの理解啓発等

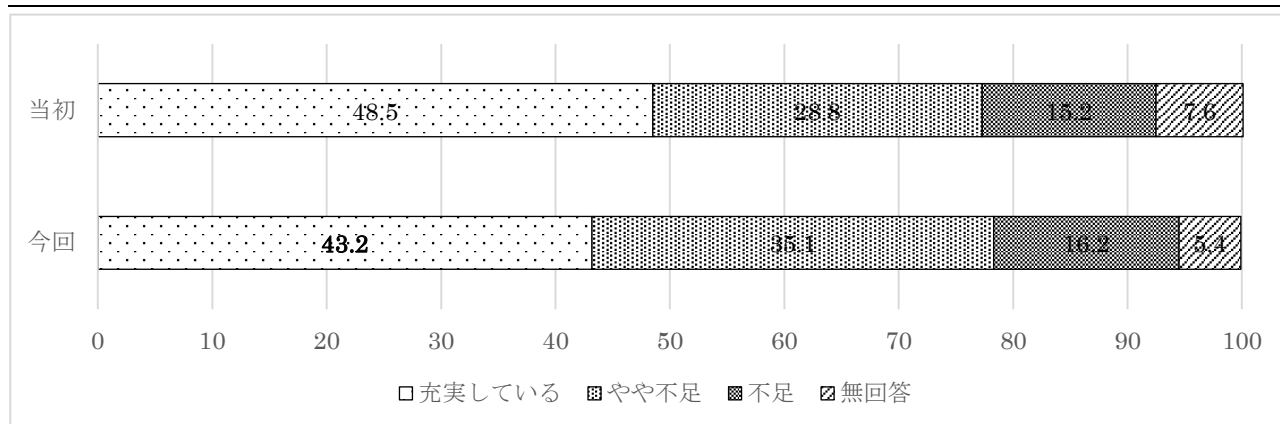
交野の子どもを中心とした読書、文化状況が豊かになるように活動している

植物（花・木・草）の知識を豊かにする

問5 貴団体の活動における「施設・設備」の状況についてお聞きます。

充実しているが43.3%と最も多く、次にやや不足が35.1%となっています。

市内の公共施設は老朽化が進みやや不足と回答した団体が増えています。



当初と比べると、大きく差はありませんが、施設の老朽化に伴い利用団体から要望が出ています。

→ 引き続き、公共施設の見直しや利便性を考慮しながら施設設備を検討していきます。

(施策目標1-4)

具体的な不足（自由記述）

重たい荷物の持参のため、階段が大変。エレベーターの設置を望みます

施設目的に適した場所が少なく毎回同じ施設を利用している

定期的に使用可能な練習会場がない

武道館を使用しているが冷暖房設備が不十分で、夏場の熱中症対策が難しい

楽器の搬入が困難（特に雨の日）

真夏にエアコンのききが悪い（エアコン料金が安い）

音楽練習室として遮音性等に大きな欠陥がある

駐車場の数が多いと助かる

ロビーコンサートができるようなエントランスの広さがほしい

保護者が集える居場所が「みんカフェ」のみでいつでもという訳にはいかない

テニスの公式戦が行えるコート数ที่เขา市と比べてあまりにも少ない

会員の高齢化により準備・片付けが負担になってくる

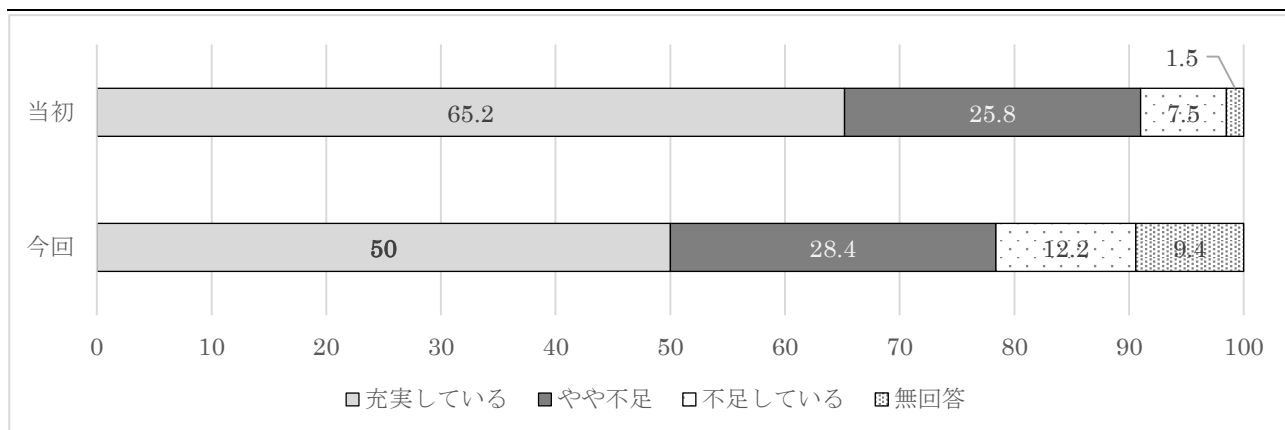
畳に隙間ができていてケガに繋がる。柱の安全マットが外れている。

バスケットボールを行えるコートが少ない

活動をしようと思う内容と広さが見合っていないため、子どもの場所としては危険も多すぎる

問6 貴団体の活動における「運営資金」の状況についてお聞きます。

充実しているが50%と最も多く、次にやや不足が28.4%となっています。

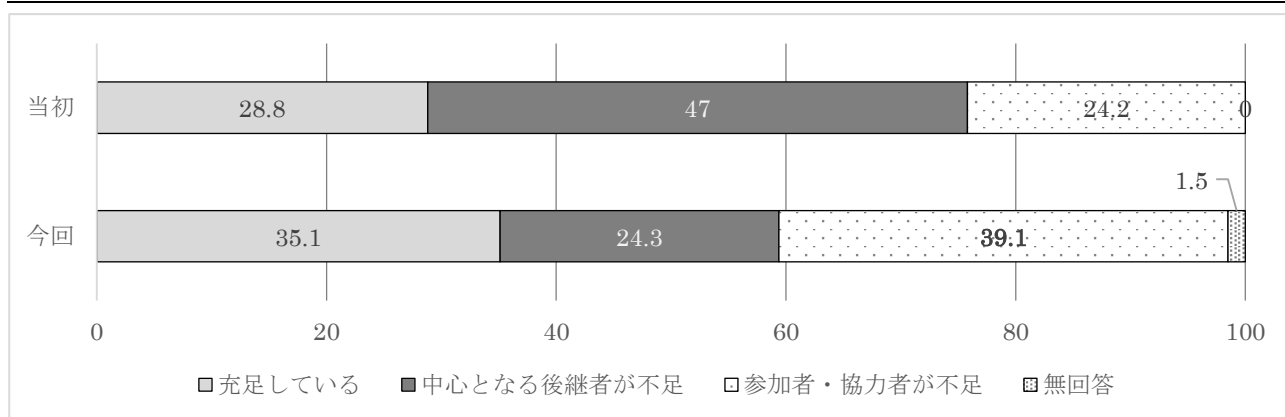


具体的な不足（自由記述）

会員が年々減ってきている
 施設使用料、保険料や上部団体への会費
 高価なソフトが買えない
 年会費で運営しているが指導者への謝礼は充分ではない。
 材料費が不足している
 毎回の屋内研修の材料も費用も節約するため可能な限り会員が持ち寄っている
 コロナ感染拡大時に休会するため
 利用者の人数が定員を下回っている、コロナの影響で売上が減少
 施設利用料金が低い
 運営資金がほぼ寄附であり常に資金不足
 人件費（専門的な知識をもった人手が必要）
 「居場所」を作ろうと思うと資金がない

問7 貴団体の活動における「人材」の状況についてお聞きます。（ひとつに○）

「参加者・協力者が不足」が39.1%と最も多く、次いで「充足している」が35.1%となっています。

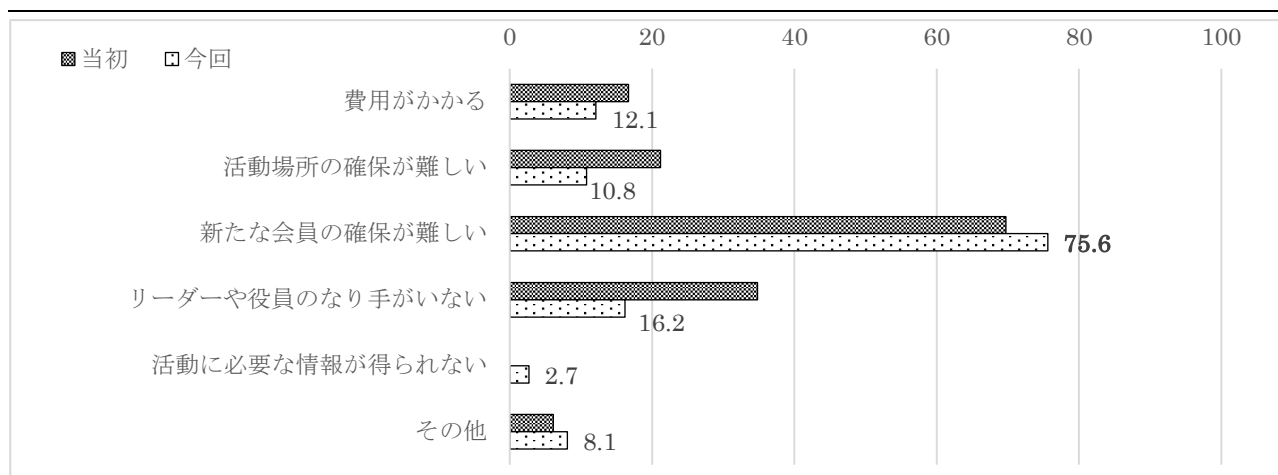


当初と比べると、「充足している」が増えてはいますが、「参加者・協力者が不足」の増加が目立ちます。高齢化や担い手不足が原因と考えられます

→ 引き続き、技術や趣味、関心に応じてスポーツ・文化などに取り組めるよう人材の育成に努めていきます。（施策目標2-3、5-1、6-3）

問8 貴団体の活動全般において、課題（困っていることなど）はどのようなことですか。
(複数可)

新たな会員の確保が難しいが75.6%と最も多くなっています。



当初と同じく、新たな会員の確保が難しいと答えた団体が一番多かったです。次世代の会員が増えないことが、どの団体も課題となっています

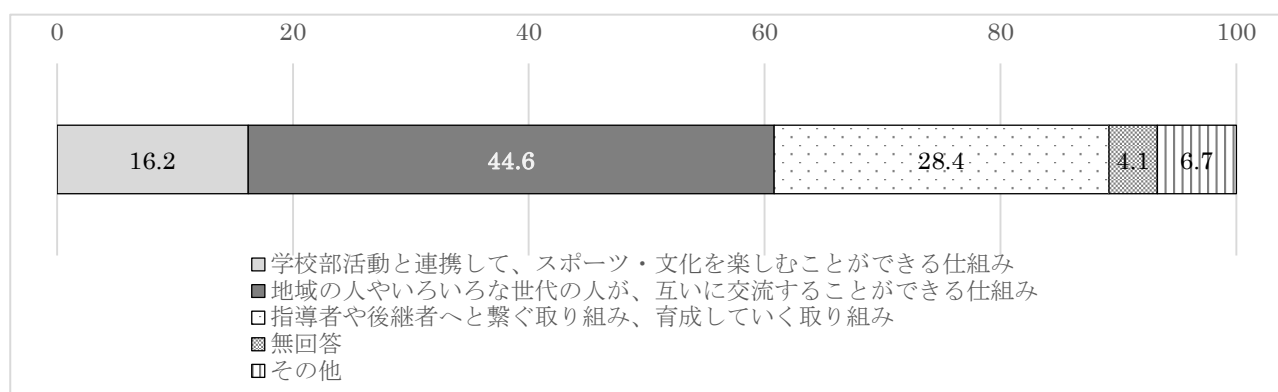
→引き続き、必要な最新の情報提供の仕組みを構築していきます。(施策目標1-1)

その他（自由記述）

テニスコート整備が会員の負担になっている、コートが少ない、部屋が狭い、部屋の防音ができない

問9 活動を将来へ継承するために、どのような仕組みや取り組みがあれば良いと思いますか。
特に重要と思うものにひとつに○をつけてください。

最も多かった「地域の人やいろいろな世代の人が、互いに交流することができる仕組み」が44.6%でした。



【新たな項目】活動を継承するための仕組みや取り組みの重要について聞きました。

「地域の人やいろいろな世代の人が、互いに交流することができる仕組み」が一番多かったです。新たな会員を増やすためには、必要な仕組みと考えられます。

その他（自由記述）

文化祭での展示の場（見て参加したいと思われることもある）

学校の武道教育への参加を通じた社会貢献の推進

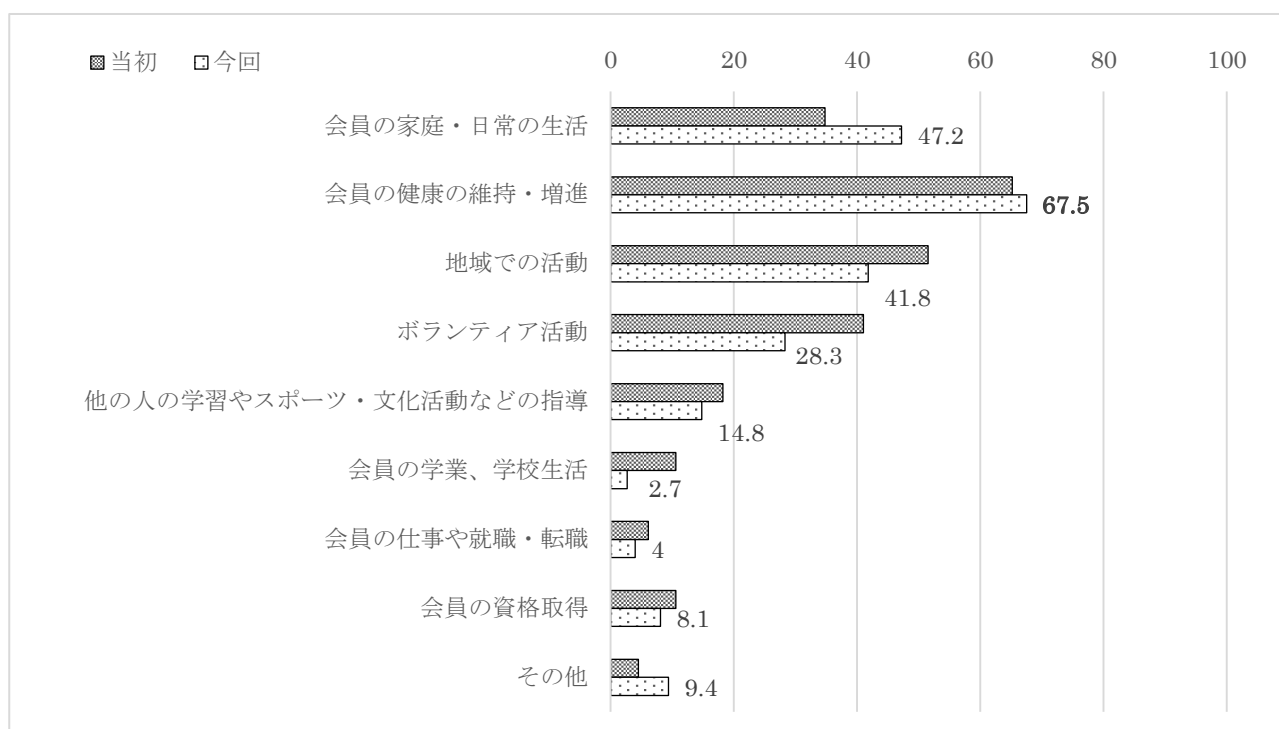
会員増強の宣伝の場、市の広報紙等の活用

他のサークルとの合同発表会

活動場所の提供、活動への理解

問 10 貴団体では、生涯学習を通じて身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。（複数可）

会員の健康の維持・増進に活かしているが 67.5%と最も多く、次に「会員の家庭・日常生活に活かしている」が47.2%となっています。



当初と比べてみても、「会員の健康の維持・増進に活かしている」が一番多かったです。

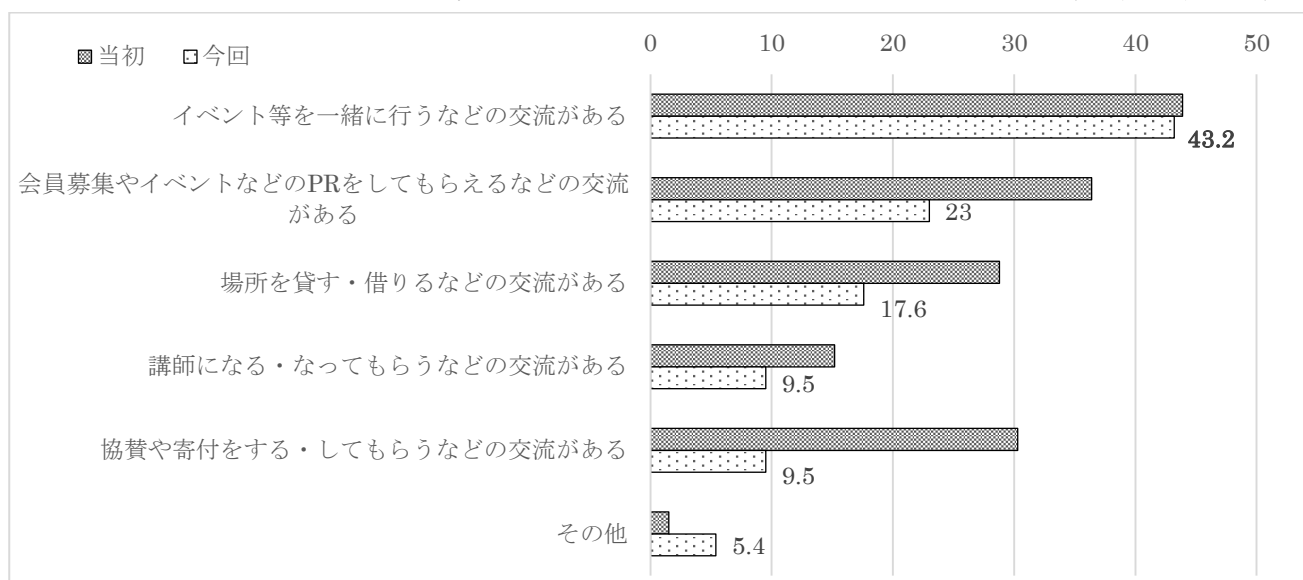
→ 引き続き、誰もが健康で暮らしを送ることができるよう機会の提供や情報提供を行います。（施策目標 6-1、6-2）

問 11 貴団体では、地域の団体（生涯学習団体、町会・自治会など）との交流がありますか。（複数回）

イベント等を一緒に行うなどの交流があるが43.2%と最も多かったです。

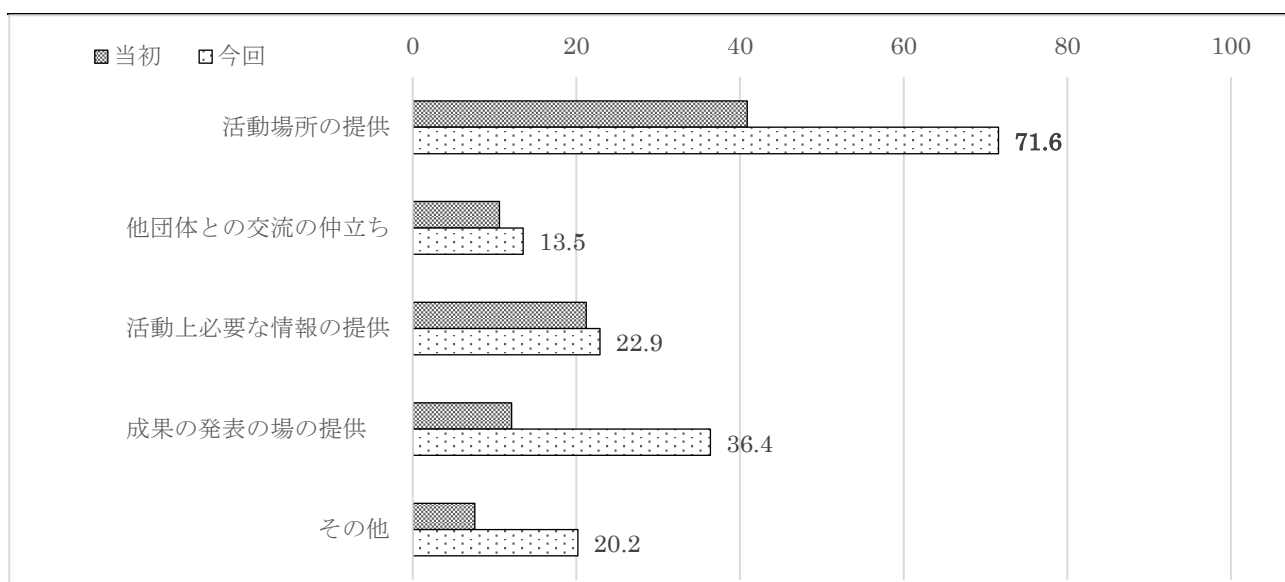
当初と比べてみても、「イベント等を一緒に行うなどの交流がある」が一番多かったです。

→ 引き続き、団体が成果の発表や公開ができる場の提供を行っていきます。（施策目標5-2）



問 12 貴団体が今後も活動をしていく上で市に望むことはどのようなことですか。（複数回）

活動場所の提供が71.6%と最も多く、次に「成果の発表の場の提供」が36.4%でした。



その他

エレベーター、空調機、備品の保管場所、音楽ホール、活動場所の整備、伝統芸術、文化の紹介、学校教育との連携の場の提供、公共施設などでの活動、団体の宣伝・告知等、情報提供
会員募集などの情報発信、機材などの充実、市民活動への助成金などの充実、

団体アンケートから見えてきた課題として

・アンケート結果を見ると 60%以上の団体が「中心となる後継者不足」、「参加者・協力者が不足」と回答しており、担い手や新たな会員が増えないと課題がわかります。

また、今回のアンケートに限らず前回のアンケート調査でも（合算で）70%以上の団体が「中心となる後継者不足」、「参加者・協力者が不足」と回答しています。

・【新たな項目】

活動を将来へ継続するために必要なものは、「地域の人との交流や世代間との交流」が活発になる仕組みや取り組みだと考えられます。

自由記述には、「すでに出来上がっているグループへ入っていくのはハードルが高く、なかなか参加できない」や「こういった団体活動があるのか情報が分かりづらい」などの声もあります。

現在、社会教育課では総合型地域スポーツクラブについての検討を行っています。
引き続き、総合型が目指す、誰でも気軽に参加できる「きっかけづくり」や「つながりづくり」の場が提供できるように進めてまいります。